十月

高野長英記念館の風景

キンモクセイとヒガンバナ

天高くすがすがしい秋晴れとなる 10 月　10 月とはいえ　気温が 25 度をこえることも…どこからともなく　記念館周辺にはキンモクセイの濃厚な甘い香りが　漂っています　また例年よりやや遅くなりましたが　記念館北側の土手には　ヒガンバナの花が咲き　虫の音にあわせて　風に揺られ　踊りながら楽しそうにしています　**(撮影　10 月 1 日)**

ヒガンバナ

ヒガンバナとトンボ

きれいに刈り込まれたドウダン生垣

センブリのつぼみ

サザンカのつぼみ

収穫したソバの実

＊長英は庶民の窮乏を救うため、早ソバと馬鈴薯の栽培を勧めた本「救荒二物考」を出版しました。その中で、「而して、糧食の足らざる所以は、一歳数熟の物なければなり。此の蕎麦一歳三熟すべし。是れ救民の鴻宝に非ずや。」と記し、ソバが年に 3 回収穫することができることを伝え、ソバの栽培を奨励しています。

10 月 30 日は　長英の命日

1850 年(嘉永 3 年)10 月 30 日、江戸の隠れ家を幕府の役人に襲われた長英は 47 歳で最期を遂げます。世界に目を開き、日本の夜明けのために捧げた生涯でした。